

本資料のうち、枠囲みの内容は、  
営業秘密又は防護上の観点から  
公開できません。

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-610 改1
提出年月日	平成30年8月10日

### V-3-5-2-1-3 管の応力計算書

## まえがき

本計算書は、添付書類「V-3-1-6 重大事故等クラス2 機器及び重大事故等クラス2 支持構造物の強度計算の基本方針」及び「V-3-2-11 重大事故等クラス2 管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。

評価条件整理結果を以下に示す。なお、評価条件の整理に当たって使用する記号及び略語については、添付書類「V-3-2-1 強度計算方法の概要」に定義したものを使用する。

・評価条件整理表

応力計算 モデルNo.	既設 or 新設	施設時の 技術基準 に対象と する施設 の規定が あるか	クラスアップするか				条件アップするか				既工認に おける 評価結果 の有無	施設時の 適用規格	評価区分	同等性 評価 区分	評価 クラス	
			クラス アップ の有無	施設時 機器 クラス	DB クラス	SA クラス	条件 アップ の有無	DB条件		SA条件						
								圧力 (MPa)	温度 (°C)	圧力 (MPa)						温度 (°C)
MS-A	既設	無	—	DB-1	DB-1	SA-2	—	8.62	302	8.62	302	—	—	設計・建設規格	—	DB-1 SA-2
	既設	無	—	DB-3	DB-3	SA-2	—	3.45	302	3.45	302	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	既設	無	—	DB-3	DB-3	SA-2	—	2.28	171	2.28	171	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
MS-B	既設	無	—	DB-1	DB-1	SA-2	—	8.62	302	8.62	302	—	—	設計・建設規格	—	DB-1 SA-2
	既設	無	—	DB-3	DB-3	SA-2	—	3.45	302	3.45	302	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	既設	無	—	DB-3	DB-3	SA-2	—	2.28	171	2.28	171	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
MS-C	既設	無	—	DB-1	DB-1	SA-2	—	8.62	302	8.62	302	—	—	設計・建設規格	—	DB-1 SA-2
	既設	無	—	DB-3	DB-3	SA-2	—	3.45	302	3.45	302	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	既設	無	—	DB-3	DB-3	SA-2	—	2.28	171	2.28	171	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
MS-D	既設	無	—	DB-1	DB-1	SA-2	—	8.62	302	8.62	302	—	—	設計・建設規格	—	DB-1 SA-2
	既設	無	—	DB-3	DB-3	SA-2	—	3.45	302	3.45	302	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	既設	無	—	DB-3	DB-3	SA-2	—	2.28	171	2.28	171	—	—	設計・建設規格	—	SA-2

## 目次

1. 概要	1
2. 概略系統図及び鳥瞰図	2
2.1 概略系統図	2
2.2 鳥瞰図	5
3. 計算条件	44
3.1 設計条件	44
3.2 材料及び許容応力	57
4. 計算結果	58
5. 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果	60

## 1. 概要

本計算書は、添付書類「V-3-1-3 クラス2機器の強度計算の基本方針」及び「V-3-1-6 重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」並びに「V-3-2-4 クラス2管の強度計算方法」及び「V-3-2-11 重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づき、管の応力計算を実施した結果を示したものである。






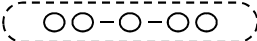

### (1) 管

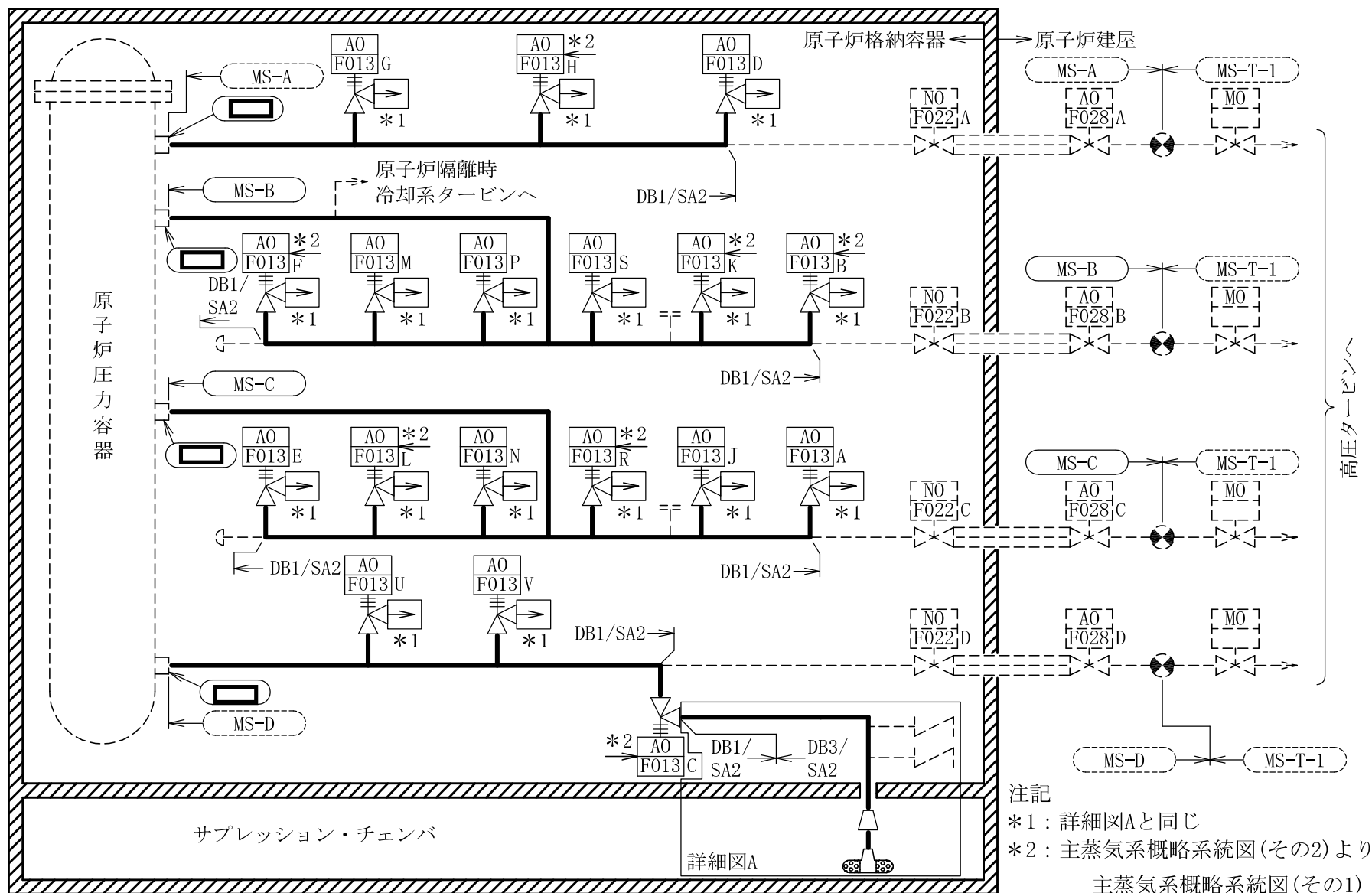
工事計画記載範囲の管のうち、設計条件あるいは管クラスに変更がある管における最大応力評価点の評価結果を解析モデル単位に記載する。また、全4モデルのうち、最大応力評価点の許容値／発生値（裕度）が最小となる解析モデルを代表として鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載する。代表モデルの選定及び全モデルの評価結果を5.に記載する。

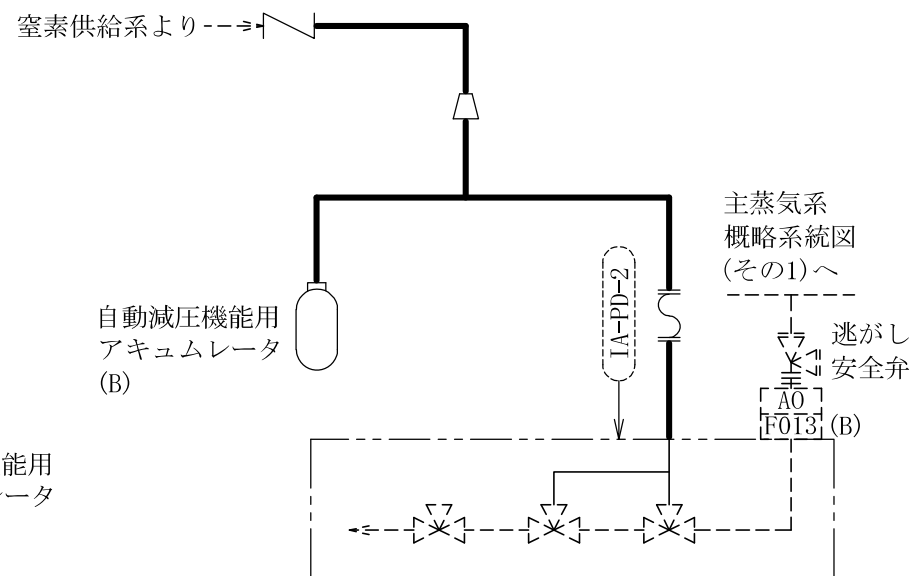
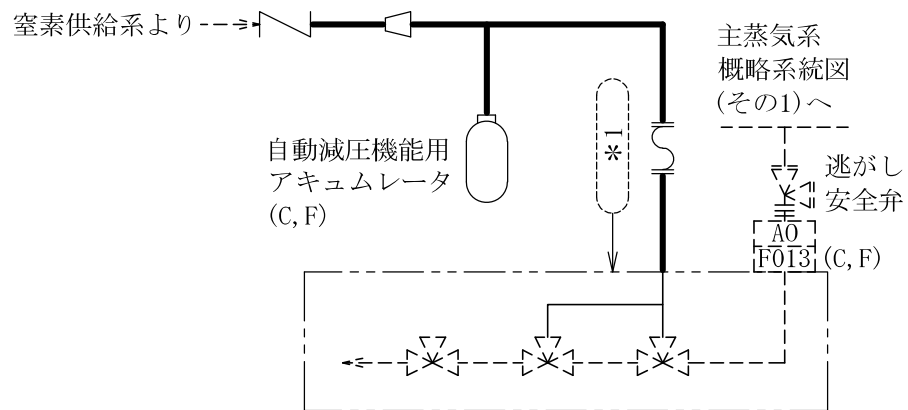
## 2. 概略系統図及び鳥瞰図

### 2.1 概略系統図

#### 概略系統図記号凡例

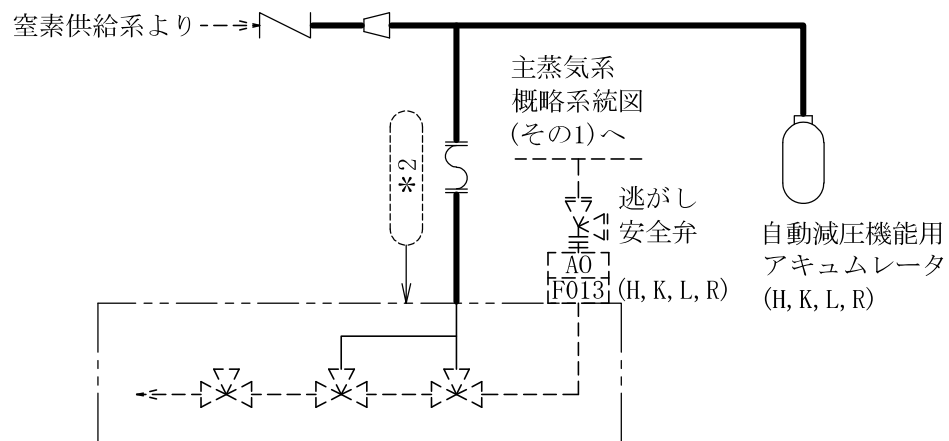
記号	内容
 (太線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管 (重大事故等対処設備)
 (太破線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管 (設計基準対象施設)
 (細線)	工事計画記載範囲の管のうち、本系統の管であって他 計算書記載範囲の管
 (破線)	工事計画記載範囲外の管又は工事計画記載範囲の管の うち、他系統の管であって系統の概略を示すために表 記する管
	鳥瞰図番号 (鳥瞰図, 計算条件及び評価結果を記載す る範囲)
	鳥瞰図番号 (評価結果のみ記載する範囲)
	アンカ
[管クラス]	
DB1	クラス1管
DB2	クラス2管
DB3	クラス3管
DB4	クラス4管
SA2	重大事故等クラス2管
SA3	重大事故等クラス3管
DB1/SA2	重大事故等クラス2管であってクラス1管
DB2/SA2	重大事故等クラス2管であってクラス2管
DB3/SA2	重大事故等クラス2管であってクラス3管
DB4/SA2	重大事故等クラス2管であってクラス4管





注記\*1 : IA-PD-4/ (C), IA-PD-2/ (F)  
\*2 : IA-PD-3/ (H) (K), IA-PD-4/ (L), IA-PD-1/ (R)

主蒸気系概略系統図(その2)



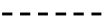


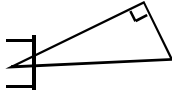
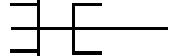
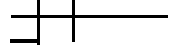

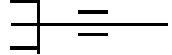


[注]太線範囲の管クラス : DB3/SA2



## 2.2 鳥瞰図

### 鳥瞰図記号凡例

記 号	内 容
 (太線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管 (重大事故等対処設備の場合は鳥瞰図番号の末尾を「(SA)」, 設計基準対象施設の場合は鳥瞰図番号の末尾を「(DB)」とする。)
 (細線)	工事計画記載範囲の管のうち、本系統の管であって他計算書記載範囲の管
 (破線)	工事計画記載範囲外の管又は工事計画記載範囲の管のうち、他系統の管であって解析モデルの概略を示すために表記する管
	質 点
	ア ン カ
	レストレイント (本図は斜め拘束の場合の全体座標系における拘束方向成分を示す。スナップについても同様とする。)
	スナップ
	ガイド
	ハンガ
	リジットハンガ  注： 鳥瞰図中の寸法の単位はmmである。

9

7

∞

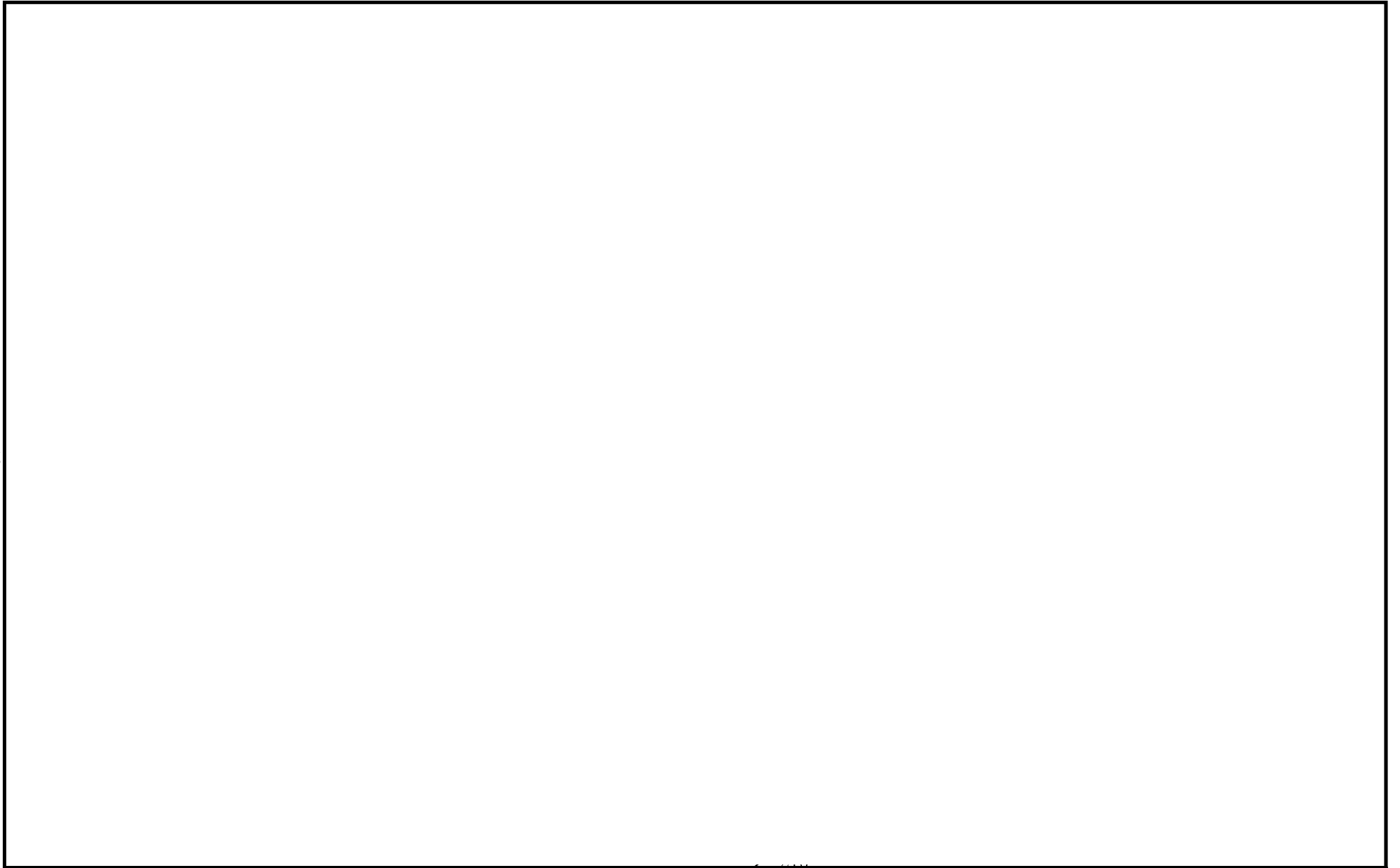
6

10

11

12







15





18



20



21





24

25

26

27

28





30

31

32





35





37

I

38

39

40



42



3. 計算条件

3.1 設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管番号で区分し、管番号と対応する評価点番号を示す。

鳥 瞰 図 MS-B

管番号	対応する評価点	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
1	1N~31, 17~56	8.62	302	660.4	33.6	STPT49
2	56~8100, 49~8200	8.62	302	252.3	39.6	
	41~8300, 21~8400 26~8500, 31~8600					
3	8100~811, 8200~821 8300~831, 8400~841 8500~851, 8600~861	8.62	302	219.1	23.0	
4	811~813F, 821~823F 831~833F, 841~843F 851~853F, 861~863F	8.62	302	219.1	23.0	STPT49



## 設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管番号で区分し、管番号と対応する評価点番号を示す。

## 鳥 瞰 図 MS-B

管番号	対応する評価点	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
5	101F~133, 201~227 301F~334, 401F~434 503~536, 601F~636	3.45	302	267.4	15.1	STPT42
6	133~142, 227~235 334~338, 434~442 536~540, 636~640	3.45	302	267.4	15.1	STPT42
7	143~166, 236~256 339~360, 443~462 541~559, 641~661	3.45	302	318.5	17.4	STPT42
8	201F~201, 501F~503	3.45	302	267.4	15.1	STPT410

配管の付加質量

鳥 瞰 図 MS-B

質量	対応する評価点
[Redacted]	1N~8, 12~17, 23~24, 35~39, 51~53
[Redacted]	8~12, 47~51
[Redacted]	17~19, 17~35
[Redacted]	19~23
[Redacted]	24~29
[Redacted]	29~31
[Redacted]	39~43
[Redacted]	43~47
[Redacted]	53~56
[Redacted]	8100~813F, 8200~823F, 8300~833F, 8400~843F, 8500~853F 8600~863F

NT2 補③ V-3-5-2-1-3 R0

フランジ部の質量

鳥 瞰 図 MS-B

質量	対応する評価点
	813F, 823F, 833F, 843F, 853F, 863F
	101F, 201F, 301F, 401F, 501F, 601F

弁部の寸法

鳥 瞰 図 MS-B

評価点	外径(mm)	厚さ(mm)	長さ(mm)	評価点	外径(mm)	厚さ(mm)	長さ(mm)
813F~814				814~815			
815~816				816~817			
814~101F				823F~824			
824~825				825~826			
826~827				824~201F			
833F~834				834~835			
835~836				836~837			
834~301F				843F~844			
844~845				845~846			
846~847				844~401F			
853F~854				854~855			
855~856				856~857			
854~501F				863F~864			
864~865				865~866			
866~867				864~601F			

NT2 補③ V-3-5-2-1-3 R0

弁部の質量

鳥 瞰 図 MS-B

質量	対応する評価点	質量	対応する評価点
<input type="checkbox"/>	814, 824, 834, 844, 854, 864	<input type="checkbox"/>	816, 826, 866
<input type="checkbox"/>	817, 827, 837, 847, 857, 867	<input type="checkbox"/>	836, 846, 856

## 設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管番号で区分し、管番号と対応する評価点番号を示す。

## 鳥 瞰 図 MS-C

管番号	対応する評価点	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
1	1N~25, 12~50	8.62	302	660.4	33.6	STPT49
2	50~8100, 43~8200 35~8300, 16~8400 20~8500, 25~8600	8.62	302	252.3	39.6	
3	8100~811, 8200~821 8300~831, 8400~841 8500~851, 8600~861	8.62	302	219.1	23.0	
4	811~813F, 821~823F 831~833F, 841~843F 851~853F, 861~863F	8.62	302	219.1	23.0	STPT49

## 設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管番号で区分し、管番号と対応する評価点番号を示す。

## 鳥 瞰 図 MS-C

管番号	対応する評価点	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
5	101F~134, 201~238 302~333, 401F~439 501F~534, 601~604 605~636	3.45	302	267.4	15.1	STPT42
6	134~137, 238~242 333~339, 439~444 534~538, 636~640	3.45	302	267.4	15.1	STPT42
7	138~160, 243~265 340~359, 445~464 539~559, 641~661	3.45	302	318.5	17.4	STPT42

## 設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管番号で区分し、管番号と対応する評価点番号を示す。

## 鳥 瞰 図 MS-C

管番号	対応する評価点	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
8	201F~201, 301F~302 601F~601, 604~605	3.45	302	267.4	15.1	STPT410



配管の付加質量

鳥 瞰 図 MS-C

質量	対応する評価点
[Redacted]	1N~12, 18~19, 29~33, 45~47
[Redacted]	12~14, 12~29
[Redacted]	14~18
[Redacted]	19~23, 41~45
[Redacted]	23~25
[Redacted]	33~37
[Redacted]	37~41
[Redacted]	47~50
[Redacted]	8100~813F, 8200~823F, 8300~833F, 8400~843F, 8500~853F 8600~863F

フランジ部の質量

鳥 瞰 図 MS-C

質量	対応する評価点
	813F, 823F, 833F, 843F, 853F, 863F
	101F, 201F, 301F, 401F, 501F, 601F

弁部の寸法

鳥 瞰 図 MS-C

評価点	外径(mm)	厚さ(mm)	長さ(mm)	評価点	外径(mm)	厚さ(mm)	長さ(mm)
813F~814				814~815			
815~816				816~817			
814~101F				823F~824			
824~825				825~826			
826~827				824~201F			
833F~834				834~835			
835~836				836~837			
834~301F				843F~844			
844~845				845~846			
846~847				844~401F			
853F~854				854~855			
855~856				856~857			
854~501F				863F~864			
864~865				865~866			
866~867				864~601F			

NT2 補③ V-3-5-2-1-3 R0

弁部の質量

鳥 瞰 図 MS-C

質量	対応する評価点	質量	対応する評価点
□	814, 824, 834, 844, 854, 864	□	816, 826, 846, 866
	817, 827, 837, 847, 857, 867		836, 856

## 3.2 材料及び許容応力

使用する材料の最高使用温度での許容応力を下表に示す。

材 料	最高使用温度 (°C)	許容応力 (MPa)			
		S m	S y	S u	S h
STPT49	302	138	209	—	—
	302	115	173	—	—
STPT42	302	—	—	—	103
STPT410	302	—	—	—	103

4. 計算結果

下表に示すとおり最大応力は許容値以下である。

重大事故等クラス2管であってクラス1管  
設計・建設規格 PPB-3500の規定に基づく評価

鳥瞰図	最大 応力 評価点	配管 要素 名称	最大応力 区 分	一次応力評価 (MPa)	
				一次応力  S prm	許容 応力  Min (3Sm, 2Sy)
MS-B	49	TEE	S prm	104	345

## 計算結果

下表に示すとおり最大応力はそれぞれの許容値以下である。

重大事故等クラス2管であってクラス3管  
設計・建設規格 PPC-3520の規定に基づく評価

鳥瞰図	最大応力 評価点	最大応力 区 分	一次応力評価(MPa)	
			計算応力	許容応力
			S prm(1)	1.5 S h
MS-B	303	S prm(1)	49	154
MS-C	232	S prm(2)	137	185

5. 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類毎に裕度最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果（重大事故等クラス2であってクラス1範囲）

No.	配管モデル	供用状態E				
		一次応力(膜+曲げ)				
		評価点	計算応力 [MPa]	許容応力 [MPa]	裕度	代表
1	MS-A	14	89	345	3.87	—
2	MS-B	49	104	345	3.31	○
3	MS-C	43	104	345	3.31	○
4	MS-D	13	75	345	4.60	—

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果（重大事故等クラス2であってクラス3範囲）

No.	配管モデル	供用状態E*1					供用状態E*2				
		一次応力					一次応力				
		評価点	計算応力 [MPa]	許容応力 [MPa]	裕度	代表	評価点	計算応力 [MPa]	許容応力 [MPa]	裕度	代表
1	MS-A	141	34	154	4.52	—	231	134	185	1.38	—
2	MS-B	303	49	154	3.14	○	533	128	185	1.44	—
3	MS-C	303	42	154	3.66	—	232	137	185	1.35	○
4	MS-D	226	34	154	4.52	—	131	91	185	2.03	—

注記 \*1：設計・建設規格 PPC-3520(1)に基づき計算した一次応力を示す。

\*2：設計・建設規格 PPC-3520(2)に基づき計算した一次応力を示す。